

SSW スキルアップ研修会 報告書

日 時： 令和元年 10 月 26 日（土） 9：00～15：10

会 場： 山口県セミナーパーク

テ ー マ： 精神疾患のある方への支援

参 加 者： 12 名

報 告 者： SSW 委員会 委員長 中村幸一郎

報告作成日： 令和元年 10 月 26 日（土）

精神疾患のある方への支援というテーマのもと、以下の 2 点について講義・演習を行いました。

① 学校ソーシャルワーカーの実践におけるメンタルヘルス理解の重要性

理論についての講義を学びながら、自分たちの実践をグラウンデッドセロリーアプローチを参考に分析を行いました。

生成されたアプローチは、

- ・ミクロ（母親の不安を軽減する：HFK アプローチ）
- ・メゾ（マネジメントをし、チームを形成する：M アプローチ）
- ・マクロ（地域を巻き込んだ飲み会：N アプローチ）

に別れ、メンタルヘルス支援においても、SSW がミクロ・

メゾ・マクロの視点でメンタルヘルス支援のアプローチを行っていることが明らかになりました。



② 「精神科受診」について考えてみましょう

普段 SSW が何となく行っている精神科受診・入院について改めて振り返る機会となりました。

SSW としては、受診や入院に至るまでに力を注ぎ、そこをゴールとしてしまう傾向がありました。



しかし病院側からすれば、そこを新たなスタートとして欲しい気持ちや苦しみがあり、そこで終結せずその後も病院と SSW とのコミュニケーションを行っていくことが重要であると理解することができました。

高木先生、橋本先生ありがとうございました。